



貼り絵・書道等28作品を展示 秋の新高尾文化祭へ出展も

先月号紙面でご紹介した利用者様の作品集『華咲く作品展』の現物展示を現在、一号館二階のパブリックスペースで行っています。

作品28点、24名参加
作品は塗り絵、貼り絵、ちぎり絵、書道、手芸、写真の他、俳句、短歌等合計二十八点。二十四名の利用者様が参加されました。

作品については、地域連携の一環で今年の秋に開かれる「新高尾文化祭」に出展する予定です。



令和5年8月15日発行
第107号
〒370-0002
高崎市日高町433-1
TEL: 027-329-7211
社会福祉法人 生島会
特別養老ホーム
高崎花の苑 広報委員会

ユニット短信

●「七夕短冊飾り」

Dユニットでは七月七日（七夕の日）に短冊作りを。皆様に短冊の色を選んで頂き、ペンをお渡しすると「願い事かー。何がいいかな」と真剣な表情に。下書きのメモ用紙で練習した上、一気に書き始める方や、代筆してほしいという方には職員がお手伝いしました。

●「メロンを収穫」
E Fユニットのベランダで栽培中だったメロンがこのほど収穫時期を迎え、約五十日間、水やりや成長を見守ってきた利用者様が職員とともに先日、収穫したばかりのメロンを味わいました。

今年度は折紙や画用紙で色塗りした織姫と彦星を貼った模造紙の台紙を作成し、それぞれの短冊を貼り付けました。

メロンやスイカは先日の降雹被害を辛うじて免れました。八月に入り、「夏野菜プランター栽培」もそろそろ終わりの時期を迎えようとしています。

第二回運営推進会議を開催

今年度第二回運営推進会議が七月二十八日、高崎花の苑会議室において開催されました。

例についての説明を行いました。

運営状況を報告

ここでは加藤施設長の挨拶を始め、苑内における運営状況報告の他、ハラスメントおよび苦情事

「作品展」を見学

なお会議終了後には、パブリックスペースで現在展示中の『華咲く作品展』を見学されました。次回は九月二十八日の開催を予定しています。



夏のシンボル「向日葵」が満開

市内鼻高町の「展望花の丘」では、上毛三山や浅間山を見渡せる景勝地の一角で、夏のシンボル、向日葵（ひまわり）が見頃を迎え、訪れた人を魅了しています。（七月二十六日撮影）

一方、同じく市内の有数スポットの一つ「埴輪の里公園」では、八月六日現在、三分咲き程度で、見頃は八月中旬頃とのことです。



●「百寿と白寿のお祝い」
Hユニットの横井フク子様とIユニット新井文子様が、今月それぞれ百寿と白寿を迎えられました。この日、職員から祝福を受け、またお二人のますますの健康長寿を祈念するとともに、記念撮影を行いました。

ユニツトたより

「夏はスイカが一番」

連日猛暑の中、少しでも涼を感じて頂こうとスイカ割りやヨーヨー釣りの夏行事を行いました。

スイカ割りでは、各利用者様に応じた棒などを使用し、スイカに当ててもらいました。刀を持った栗原様は「本気出したらスイカが食べられなくなるから」と優しくスイカに当てるだけの気遣い。最後に職員三人が本気のスイカ割りを行いました。四分の一も割れませんでした。



続いて童心に帰ってのヨーヨー釣りでは、気に入った柄が釣れて笑顔の遊佐様や「釣れたぞ！」と高く持ち上げる芳野様が大奮闘！

最後にみんなで割ったスイカとスイカゼリーを食べ、「夏はやっぱスイカが一番だね」と大満足の様子でした。(A・Sユニット U)

「夏の定番を堪能」

BCユニットの七月行事は、夏の定番行事、すいか割りや花火を行い涼気を養いました。



猛暑を吹き飛ばす夏行事
スイカ割りや花火を各ユニットで

西山様の誕生会を祝ったあと、すいか割り行事へ。最初に西山様にお願いたとところ、優しい性格そのままに叩く力も優しく、職員の応援で何とか割れ、ご本人もご満悦の様子。自ら希望された福島様は力強く三回ほど叩き、見事真二つに割れると、皆様から大きな歓声と拍手が起きました。

この日の夕刻には玄関前で花火を行いました。花火が鮮やかに光り「き

れいだね」「こっちにも火を点けて」などと賑やかに。吹き上げ花火には自然と歓声が起こり、たくさん笑顔もこぼれていました。(B・Cユニット N)

「一年越しの思い？」

昨年の夏の終わり、伊藤ひろ子様から「スイカ食べたいね」と言われ、来年の夏食べましょう、と約束しました。そして迎えたこの夏、EFユニ



ットではスイカ割りのイベントを行いました。この日、先ずはウクレレ演奏で「夏の思い出」などを歌い、夏の気分を高めたところで、スイカが登場！発起人？の伊藤様は「重いね！」と満面の笑顔。他の利用者様も「大きいね」「冷たいね！」との感想や、黒澤澄江様の溢れんばかりの笑顔も見られました。



スイカ割りは、ストレス解消も兼ね紙風船で行いましたが、中には色鮮やかな紙風船を愛おしうに抱きしめる方も。そして待ちに待ったスイカの実食！「甘い！」「美味しい！」と皆様お替りされていました。

一年越しのスイカとの出会い。職員も約束が果たせ、皆様に喜んで頂き大成功の行事でした。(E・Fユニット U)



委員の一言メモ

★家の畑の枝豆が猛暑に負けず豊作で、ビールのお供ではなく、一週間主食でした(白) ★庭の雑草が元気に生えて、連日汗だくで草むしりをやっています(努) ★夏には冷たいそうめんが一番。飽きないようにクックパットを駆使してアレンジしながら頂いています(彩) ★先日のスイカ割り行事の他、EFではまだまだ夏行事は終わっていません。楽しんで頂くよう準備中です(麻) ★先日、大岩フラワーガーデンに。空を向く満開のひまわり畑を見ると元気をもらえます(山) ★我が家の愛犬の為、24時間エアコンがフル回転。はてさて、この夏の電気代は：

(由) ★雨も降らず猛暑の連続。降ったと思ったら豪雨や雹。なかなか程よく降らないものですね(美) ★各ユニット夏行事は、日本の夏風物詩「すいか割り」でヒートアップ。皆かつての情景に思いを馳せながら(丹)

の笑顔。他の利用者様も「大きいね」「冷たいね！」との感想や、黒澤澄江様の溢れんばかりの笑顔も見られました。